

Title	名前のいろいろ(二)
Author(s)	天文臺人
Citation	天界 = The heavens (1923), 3(26): 49-51
Issue Date	1923-01-25
URL	http://hdl.handle.net/2433/159831
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

點で銀河系經度零度の所だ。

本文の後半即銀河系座標に關する部分に就ては次の書を參考にした。

Annuaire de L' Observatoire Royal de Belgique, 1923.

一月號ミ本號ミで豫備智識を終り、次號より本文に入る。

名前のいろく

天文臺人

寄 附 者

一九一九年、アメリカのカネギー研究所に屬するウィルソン山觀測所で當時世界第一の反射望遠鏡が完成した。

夫れはフツカーミいふ人の四萬五千弗の寄附によつたもので口徑が百インチ即ち二百五十四センチミいふ大物である。何しろ素敵もなく大きな鏡を造るこゝであるから、材料のガラスを得るのに有名なフランスの硝子製造所が幾度も鑄直しをやつた程で、寄附者のフツカー氏はこゝゝ其出來榮へを

見るこゝが出来ず一九一一年に没して仕舞つた。それで此反射鏡を完成させるためにカネギー財團は尙ほ多額の金を投じたのである。此様にして十年餘の日子を費して出來上つた望遠鏡を呼ぶのに、百インチ望遠鏡といつても差支へはないであらうけれ共最初の寄附者の名を記念してフツカー望遠鏡ミ呼びならはしてゐる。何ミやさしい命名法ではなからうか。尙ほ此様な例は決して稀ではなく同じウィルソン山のスノー望遠鏡又チリのミルス分光寫眞儀なミ、寄附者の名前をつけた例は只に此等に止らないのである。然し其様な名前の附け方は日本なミでは殆んミ見掛けぬ所であらう。

一體機械の名前を附けるのにはいろくゝなやり方がある。その機械の特種の使用法や又特種の構造から名前を附けるであらうし、同じく人の名前を冠ぶせるにしても考案者の名前にミつてハルトマン光度計ミかクツクソン浮遊天頂儀ミか稱へるし、反射望遠鏡ではニュートン式、グレゴリー式といったものであらう。又工作者、製造業者の名前を冠せて呼ぶものも澤山ある、從つて夫れには番號を附け加へる必要があるこゝは申す迄もない。時計の如きはリーフラーの何番ミいふ

しクロノメートルではナルダンミかニーガスミかの何番何番を稱へるのである。望遠鏡などでもザルトリウスだのバンベルヒだの又レブソルド何々ミ呼ぶであらう。

更に天文臺については、主に其所在地の名前を冠するのが多くて日本などでも東京天文臺、京都大學天文臺又水澤緯度觀測所といふ様に、外國にはグリニツチ天文臺、パリ天文臺ブルコワ天文臺、ウイルソン山天文臺、ワシントン海軍天文臺等々々がある。又その創設者及び偉勳のあつた人の名前を冠らせてローエル天文臺、ロツキヤー天文臺といふものがある内に、寄附者の名前を其儘まつたものはリツク天文臺、エルクス天文臺であらう。

彼のリツクが自分の墓石の永久に残されるものを求めて、海中の高塔をすて、リツク天文臺のドームを選んだ事は正に彼れの選び方に誤りないことを稱するものであつて彼れの墓石は常こ盤はに、人間の歴史と共に残るものであらう。其相談相手が天文學者であつたことも大に注意する必要があるであらうし何事にまれ、良い智恵を借りたいならば先づ天文學者に附くがよからうと思ふ。

尙、學術的の遠征旅行に對して經費を寄附したものゝ名を採つてフツカー學術旅行ミカミルス學術遠征ミ稱へる事もある位である。

此様に名前の附け方呼び方にいろいろある中に、寄附者の名前を其儘探ることは餘り露骨である。是れ米國の拜金主義の表現であるにけなす人もないではなからうけれ共、是人情國情の相違であつて由來東洋では金錢をひごく蔑視してゐる傾きがあるが、金その物にこだわらず大枚の金を投げ出す眞心を汲み取る事が必要ではなからうか。却つて日本などには於て金々ミ蔑視してゐる乍ら、その取扱ひに何ぞなく淺つさりしないのは金に挿はれてゐるを見なければならぬと思ふ。命ミかけ換への寄附金で建てた公會堂も中央公會堂であり、大した寄附金で出来る公園でも場所の名をこつて横網公園と呼ぶ。畢竟名前の附け方に色々の種類のあることを知らないのではなからうか。これは命名者が知らないといふのでは無く日本人一般がさうなのであらう。若し安田公園でもいはうなら安田といふ富豪の莊園或は私有公園でもあるかの様に誤解するのを氣使つてのこどもであらうと思はれる。

又國家多事の際、國費の幾分を献上して男爵を授かる様の事でもあらば、金に爵位をこいつて密かに慷慨する向もあらうが夫れは一を見て十を察せざるもの云はねばならない。何々寄附候事は奇特の事といつた感謝狀や木杯銀杯の褒賞もさる事乍ら、今一步進めて寄附者の名を記念するといふ事は更に氣持のよい感謝狀であらねばならない。只寄附金其物を

目せずして、萬金をば其學問の爲めなり其事業なりに投ずる眞情を思ふならば、寄附者を遇するの道として決して過ぎたりとは云へないと思はれる。特に此事は目前の利益を些の目標とせざる天文學に於て強調し得ると思ふ。若し寄附者の眞情にして不純なりと看破するならば其時こそ遠慮なく寄附金を投げ返してやればよいであらう。寄附者には飽くまで謙讓で禮儀正しくありたい。しかし諂諛的で卑劣ではありたくない。(つづく)

通俗天文いろは歌

西岡 芳涯

- 一 い 一等星 皆で十九 あるなれど
我等が見るは 十五なりけり
二 同 引力で 海王星の ありどころ
豫報せし人 英のアダムス
三 同 一年は 三百六十 五日と
五時四十八分 四十六秒
四 同 一月の 三日前後の 太陽と
地球の距離は 最近と知れ
五 ろ ローランド 格子で 太陽の
基準スペクトル 確と定めぬ

- 六 は 白鳥が 天の川面に およけるを
ながむる星は 織女牽牛
七 同 白羊の 第一點は 春分點
ベガス星の 左下方ぞ
八 に 肉眼に うつる 星數 五千ほぎ
同時見ゆるは 二千そこく
九 同 二十八の 星座を月の 宿場とぞ
選びし人は 印度國民
一〇 同 二十九 五三日で お月様
地球をまはる 陰曆の月
二 は 星の數 寫眞に撮りて 數ふとも
二十億には 及ばざるべし
三 同 北極の 指す方向は 移り行き
二萬餘年で 天を一周
四 同 北斗の 頭の星と 女帝星
中央にひかる 星は北極
五 同 北斗星 第六番は 二重星
ミザル主星で 従はアルコル
六 へ ヘルムホルツ 太陽熱の 本源は
其收縮に ありと説きけり
七 へ ヘルクルス 織女にさなる 星座にて
太陽系の 進む向點
七 同 ベガスや アンドロ、カシオ、ケファイアス
ペルセアスなど 秋の夜の星
八 ミ 土星には 衛星十箇 環一つ
主體の徑は 地徑九倍ぞ